

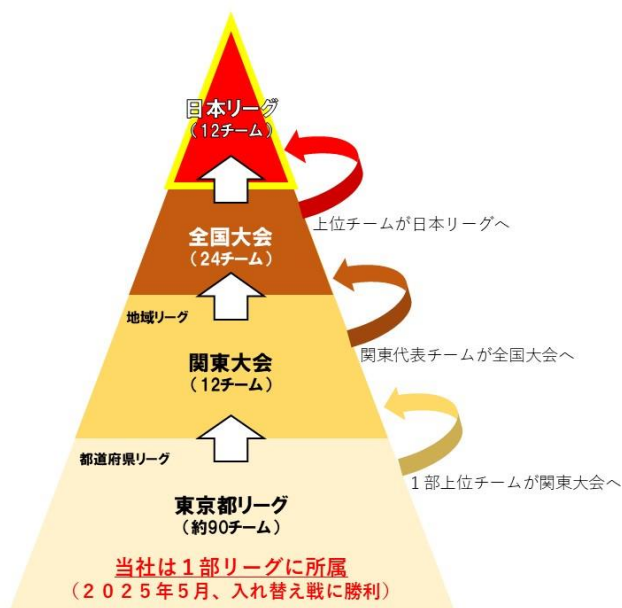
スポーツ事業本部 テニス実業団活動について

テニス実業団活動とは、公益財団法人日本テニス協会ツアー機構・事業推進本部に所属する専門委員会が運営する実業団大会へ参加し、その活動を通して企業の存在や価値を広報することが主たる目的とされています。当社の加盟する東京都実業団テニス協会は、東京都内におけるテニスの普及や競技力の向上を目指す団体で、毎年6つの大会を主催しており、当社は現在そのうちの1つの〈春季・秋季リーグ戦〉に参加しています。（現在は女子チームのみ）

本大会には男子約450チーム、女子約140チームが参加し、男子は1部～10部、女子は1～7部にレベルごとに分かれてリーグ戦を行います。10部/7部から1部へと勝ち進み、各都道府県リーグ1部の上位チームは関東大会へと進みます。関東大会を勝ち上がると全国大会、そして最高峰である日本リーグへと続きます。

現在、当社スポーツ事業本部は東京都リーグ第3部に属しており、日本リーグ出場をゴールに据えて大会に臨んでいます。

当社の実業団活動の目的には、「選手活動もしたいと考えている、テニスコーチ人材の採用」もあります。現在当社在籍しているコーチ専任社員の多くが選手として大会に出場せず、日々レッスンをしています。選手とコーチを兼ねる社員の在籍は、これまではありませんでした。そうした中で参加する今大会において、好戦績を残すことで、当社には今まで入社を検討していなかった層の人材から注目が集まり、選手活動とコーチの仕事の両立を希望する人からの応募が増える可能性があります。こうした選手兼コーチの人材採用につなげることも、実業団活動参加の狙いの一つなのです。



＜実業団テニスの試合の流れ＞（下記はすべて女子チームについて）

●都道府県リーグ

女子 A ブロック 49 チーム B ブロック 45 チーム 計 94 チームが参加。

（高木工業は B ブロック第 3 部その 1）

試合形式はシングルス 2 試合、ダブルス 1 試合。

●関東大会

12 チームによるトーナメント戦。

試合形式はシングルス 1 試合、ダブルス 2 試合。

●全国大会（第 63 回全国実業団対抗テニス大会）

24 チームが参加。（関東からは 5 チームが参加）

4 チームごとにリーグ戦を行い、各ブロック 1 位のチームのトーナメント戦、2 位以下のチームのコンソレーションを実施。

試合形式はシングルス 1 試合、ダブルス 2 試合。

●日本リーグ

参加する 12 チームをレッド・ブルーの 2 ブロックに分け、各ブロック（6 チーム）で総当たり戦。

各ブロックの上位 3 チーム計 6 チームが、決勝トーナメントへ進出してトーナメント戦を行い、優勝チームを決定。

試合形式はシングルス 2 試合、ダブルス 1 試合。

以上